（其二）

旧友殿、

徐州戦線の部隊は一ヶ月余りに亘って部隊を迷走し未だに解決の曙光は見つからない。昨年七月の大部隊に関東軍を依頼し兵部隊の兄弟は皆共に我等の[illegible]コンスカルに出せず又留守の回答に出せず、あくまで軍部を通して部隊を接せる者が大阪地方裁判所に、それは初め徳田君を派遣したが直ちに憲兵のため追放に逢ひ、ついで本部の[illegible]田君が応援に行ったがこれ又おい[illegible]つけて去った。大阪地方裁判所にそれでは更に応援隊を組織し五名の人を派遣したが、突如一隊十八名下の如き飛電があった「カンブソウテシソクタノム」。二つ[illegible]憲兵の監置にかかったが[illegible]、[illegible]作り出来のカツカツしと攻撃の横暴を以ってゐる。更に吾々は因って[illegible]勢力の不足を補ふために旧地方の有志を動かせし[illegible]

を起し[illegible]せしめ部隊を冥加的に威嚇している。この二月十七日夜戦争部隊が開かれたが法的を出し部隊指揮者十カ月後の今日ある。この際全員決定部隊長の要求と

（其の一）

一、徐州部隊増強を期待へ対して要求書を提出すること、

一、選挙に於ける個体と[illegible]に決す件、

一、戦争なんぞ対してはその[illegible]の相[illegible]にはない、

以上の決定の中要求す他を以て無条件に排除しに関係は直に[illegible]することによって或る[illegible]に黒い白人の来る際に其の準備をしてゐる同志の[illegible]と共に満州全憲兵の監視に於いても、なほこの部隊は益々進展する模様だ。多数名々たるを撫中の部隊を[illegible]たす様お願ひ下さい。

一、今夜援護隊[illegible]一人でも多くの[illegible]人手

財團法人 協調會